

松ヶ崎景観まちづくりシンポジウム

平成 25 年 11 月 24 日（日）午後 1 時～3 時、京都工芸繊維大学ベンチャーラボ・ラウンジホールにて松ヶ崎景観まちづくりシンポジウムが京都工芸繊維大学と地元の松ヶ崎小学校学校運営協議会、公益財団法人松ヶ崎立正会の主催で行われました。

地元の長老、岩崎 皓様の“松ヶ崎の里山を語る”を映像記録で紹介され、昔の松ヶ崎の里山としての様子が大変皆様の関心をひきました。引き続きまちづくり研究室の佐々木先生より 50 年後、100 年後の松ヶ崎について興味深いお話がありました。第 2 部として学生の土肥さまより松ヶ崎ビジョンと景観づくりのアンケートの中間報告、またオープンディスカッションが行われ、松ヶ崎は山を中心とする景観が重要であり、身近なところから進めていく必要性が認識されました。

景観まちづくりシンポジウム風景



（もくもく手作りカフェ）京都工芸繊維大学「松ヶ崎祭」で松ヶ崎の山の間伐材で作られたテントと枝や木の実での子供たちによるクリスマスツリーづくりの体験

